

NEW 完全水無消火ユニット
EPパッケージ

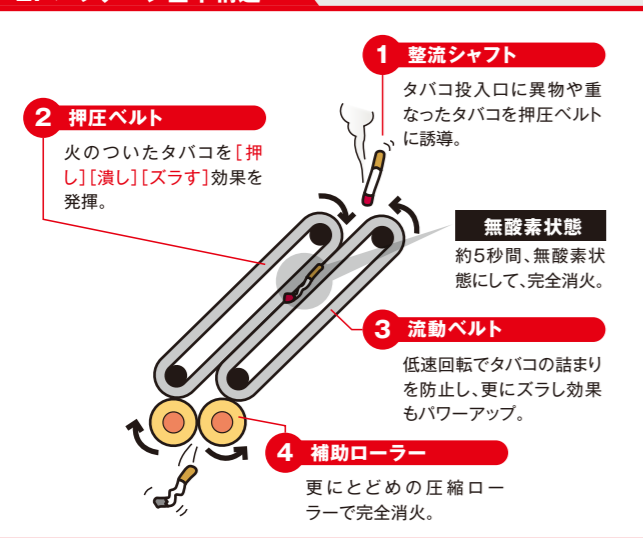
特許取得番号 登録第5633715号

水を使わないから、

- ① 吸殻回収にかかる『作業』『人員』『時間』を大幅カット
- ② 汚水ゼロ
- ③ 悪臭大幅カット



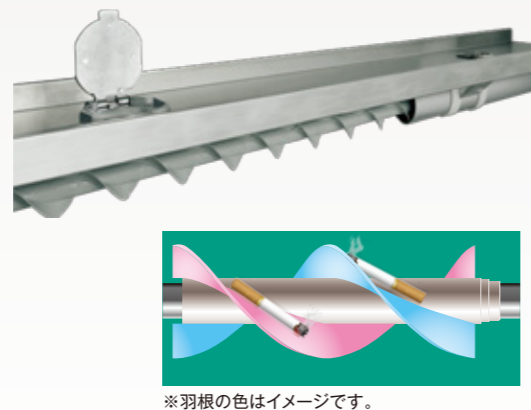
EPパッケージ基本構造



膝が干渉しない吸殻回収装置
シュートパッケージ
特許取得番号 登録第1491809号



2枚羽根スクリーウ搬送吸殻回収システム
T・O₃・L
[ツインフィン・オースリー・ライン]



NEW 完全水無消火スタンド
エコポンII



店全体の吸殻回収を水無で回収。

労力、人、時間を軽減！ 吸殻回収の新たなカタチ

タバコの吸殻は水で消火という既成概念は、安全面を考慮すれば当然だというホールは多い。しかし、水を使用する吸殻回収システムは、安全面は担保されるものの、毎日の給水作業に加え、水に浸した吸殻の後処理に手間がかかるのが泣き所だ。

吸殻回収にかかる労力の一例として、設置台数600台クラスの店であれば、2人のスタッフが1日2回の回収作業を1時間かかるといわれている。回収した吸殻は汚水と水によってバラけた吸殻を仕分けする必要がある。もちろん汚染水の垂れ流しは厳禁であり、中



同社のベストセラー製品「T・O3・L」(2枚羽根スクリーウ式により高速・安全搬送を実現した搬送装置)のオプションとして発売されている「EPパッケージ」。昨年の発売直後から急速に導入店が増え、吸殻回収の新時代を象徴する存在となっている。

和利などによる処理、また吸殻回収タシクの悪臭除去なども必須となる。

**省力化&コスト削減に貢献！
次世代の吸殻回収は、水無！**

「EPパッケージ」は「水そのものを使わずに燃えるゴミとして投棄できないか」というニーズに応じて製品化されたもの。基本的な原理は強力なモーターで2つの特殊配合ゴムによるベルトを回転・密着させて、その押し込む圧力とすり潰しの効果でタバコを完全に消火する仕組みで、同社が最も注力



「EPパッケージ」の導入例。毎日の給水作業、排水と吸殻の仕分けなどもなく、吸殻はそのまま一般ゴミとして処理できる。

した部分だ。

吸殻を送り出す際、タバコを消火する押圧ベルトとタバコを搬送する流動ベルトの回転数が異なるため、単に押し潰すだけでなく「ズラシ効果」が加わることで、消化能力は万全だ。この2つのベルトに挟まれた吸殻は約5秒の間無酸素状態となり完全に消火。さらに補助ローラーを経由してダメ押しでの消火を行う万全の体制を敷いている。なお、流動ベルトは低速回転で吸殻の詰まりを防止するほか、投入口に整流シャフトを搭載しており、吸殻の重なりや異物の詰まりを抑制する仕組みだ。水無吸殻回収にすることで、毎日の給水作業がなく汚染水が出ないことはもちろん、排水と吸殻の仕分けなどの重労働がなくなり、人的、時間的なコストの削減にも繋がる点も大きい。また、水を使わずに吸殻処理をしている「エコ関連」に注力しているという企業イメージのアップにも繋がるのもメリットになるだろう。



同時発表されている「EPパッケージII」のスタンド灰皿タイプを併設すれば、汚水と吸殻の濾過作業がなくなり「店内まるごと水無処理」の体制を敷くことができる。

Company
有限会社アメニックス「東京都豊島区」